

The General Packaging Industry



本社

東京本社

 レンゴー株式会社

本 社 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
TEL. 06-6223-2371 FAX. 06-4706-9909

東京本社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス
TEL. 03-6716-7300 FAX. 03-6716-7330

<http://www.rengo.co.jp>





レニーの社章は、一九〇九年(明治四十二年)創業者井上貞治郎が三成社として会社を興したとき、「三」と「成」の文字を図案化し制定されたものです。その後、聯合紙器株式会社設立の際も、段ボールの段の聯(㊤)ね合わせと「合」の字をもイメージさせるこの社章が、新社名にふさわしいとして継承されました。社章はレニーの歴史とアイデンティティを象徴しています。



The General Packaging Industry

イノベーションで、包装を超える。

—ゼネラル・パッケージング・インダストリー=GPIレンゴ—

レンゴグループは、1909年(明治42年)、わが国で初めて「段ボール」を世に送り出して以来、お客様の「包む」「装う」に対するニーズにお応えするとともに、「物の流れ」を最適化することを通じて社会に貢献してまいりました。

包装に対するニーズは、ライフスタイルの変化や環境意識の高まりとともに、近年ますます多様化・高度化していますが、レンゴグループは、豊富な製品アイテムときめ細かいネットワーク、そして長年のパッケージング・テクノロジーの蓄積をベースとして、それぞれのお客様にとって最も効率的な「最適包装」を考え続けてまいりました。

板紙から段ボールまでの強固な一貫生産体制に加え、印刷紙器や軟包装などの消費者包装分野、さらに幅広い産業を支える重包装、そして海外へも広がる私たちの事業領域は、互いに大きな相乗効果を発揮し多様なパッケージング・ソリューションを生み出しています。

リサイクルの優等生といわれる段ボールは、古紙を主原料とする循環型で再生可能な地球環境にも優しい包装材ですが、この段ボールを発祥とするレンゴグループでは、常に「人に、環境に優しいこと」が事業活動の基本です。

大気や水質汚染に対する厳重な管理体制はもちろんのこと、製造工程から製品そのものにかかるまで、地球環境への負荷低減やCO₂の排出削減を常に考えながら、省エネルギーや省資源といった資源の効率的利用に積極的に取り組んでいます。

段ボールをはじめとするパッケージは、時代の変化とともに「包む」「守る」という基本機能に、「装う」「伝える」といった情報発信機能を加え、心通じあうコミュニケーションツールとして、さらに進化する可能性を秘めています。

グローバル化の進展も見据えた海外事業のさらなる充実も念頭に、たゆまぬ意識改革とイノベーションを通じて、より広範な領域でパッケージングの新たな価値を創造し、あらゆる産業の全ての包装ニーズに積極的に働きかける提案型の集団「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPIレンゴとして、日本で、世界で、これからも躍動と挑戦を続けることで、持続的な経済社会の発展と人々の豊かな暮らしを支えてまいります。



代表取締役会長兼社長
大坪 清

ゼネラル・パッケージング・インダストリー

あらゆる産業の全ての包装ニーズに対して、積極的に働きかける提案型の企業グループです。

長年にわたる包装に関する技術とノウハウを活かした総合力で、包装にまつわるご要望に最適な解決策でお応えしてきたレンゴーグループは、現在、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に多彩な事業を展開しています。パッケージングのベストパートナーとして、たゆまぬ意識改革とイノベーションを通じて、あらゆる産業の全ての包装ニーズに対して、総合的なソリューションを提案する企業グループ「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPI レンゴーとして、時代の一步先を行く、人にも環境にも優しい、心に響く本当の価値を持ったパッケージづくりにこだわってまいります。

The General Packaging Industry



グループネットワーク

国内・海外に広がる生産ネットワーク。その全てに配置された営業マンが、それぞれの地域のお客様のニーズを汲み取り、確実にお応えします。



国内ネットワーク(直営工場)

●製紙 4工場 ●段ボール 25工場 ●紙器 3工場 ●その他 1工場

国内グループ企業

●製紙 丸三製紙(株) / 大阪製紙(株)
 ●段ボール / 紙器 大和紙器(株) / セツカートン(株) / 東海紙器(株) / 日之出紙器工業(株) 他40社
 ●軟包装 朋和産業(株) 他1社
 ●重包装 日本マタイ(株) / トライウォールジャパン(株) 他1社
 ●その他 レンゴーロジスティクス(株) / レンゴー・ノンウーブン・プロダクツ(株) 他17社

海外グループ企業

●アジア、欧州、中東、米国 142工場 23拠点

製品ラインアップ

段ボールはもちろんのこと、お客様の商品を直接包むフィルム包装による個包装から、紙器内装箱にいたるまで幅広く一括して提案させていただくことが可能です。



板紙

●段ボール原紙
 ●白板紙
 ●紙管原紙
 ●チップボール
 ●加工紙

紙器

●一般紙器
 ●ギフトパッケージ
 ●マルチパック
 ●マイクロフルート
 ●フルートプレス

SPツール

●POP広告
 ●販売促進ツール

包装システム

●包装ライン・ケーサー
 ●製函機・封函機

段ボール

●一般段ボール
 ●防災段ボール
 ●耐水・防湿段ボール
 ●鮮度保持・防虫段ボール
 ●防錆・導電性段ボール
 ●美粧段ボール
 ●物流資材

軟包装

●フィルム包装
 ●ラベル
 ●セロファン
 ●成型品
 ●グリーンテナー(BIB)

機能材商品

●ビスコパール
 ●ワサヴェール、ワサエース
 ●セルガイア
 ●ビスコース加工紙(サフロン)
 ●染色フィルム

重包装

●フレキシブルコンテナバッグ
 ●ポリエチレン重袋
 ●クラフト紙袋
 ●重量物段ボール

その他

●樹脂加工、ラミネート
 ●不織布
 ●粘着テープ、ホットメルト
 ●ロジスティクス 他

研究・技術開発

レンゴーは、お客様の包装ニーズに対して、販売促進効果とトータルコストを考え、商品のパッケージングプロセス全体に総合的なサポートを提供しています。



包装技術部

●緩衝材などの輸送包装の設計、各種包装試験、ノンステープル段ボールやユニバーサルデザイン商品などの技術開発 等

デザイン・マーケティングセンター

●マーケティングに基づいた、商品企画立案、パッケージデザイン、販促ツールの提案

中央研究所

●板紙と段ボールの素材や製造方法の研究と新機能、新商品の開発

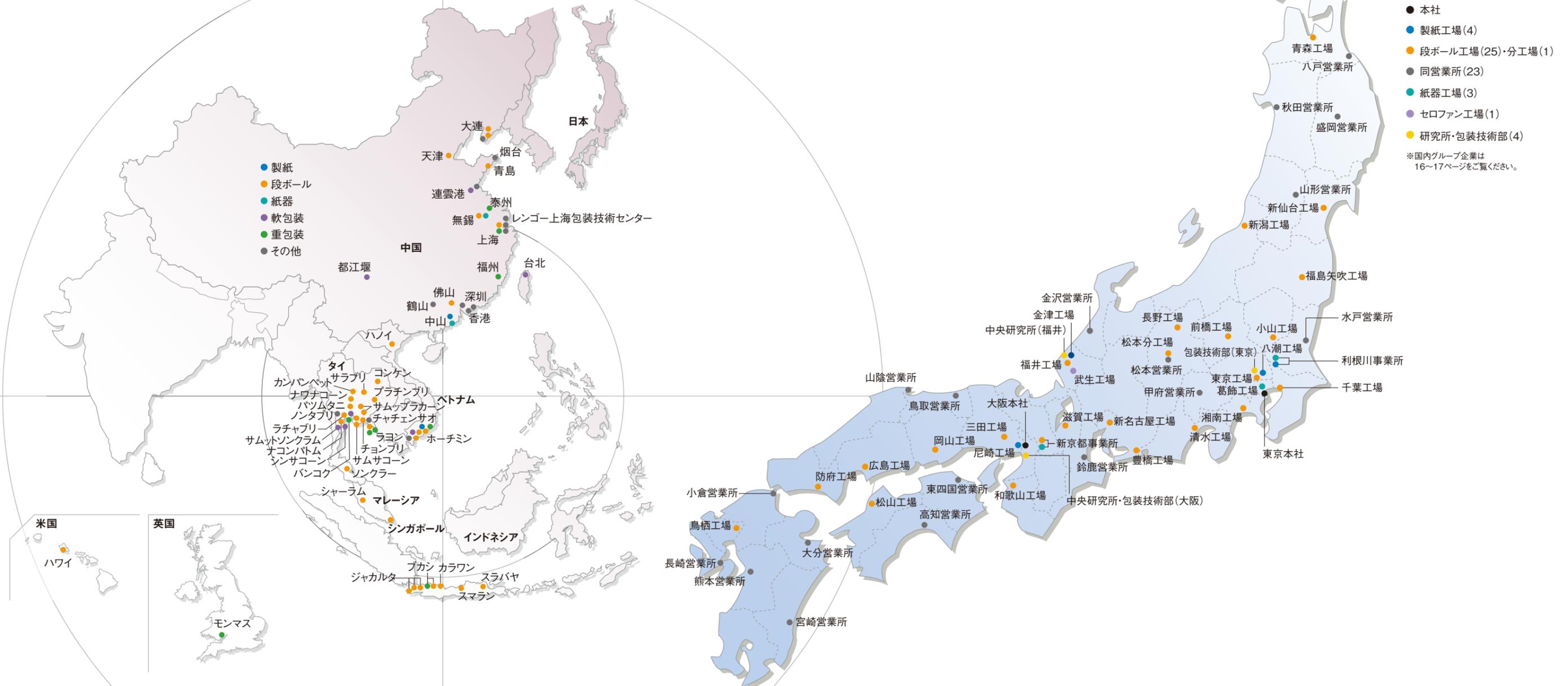
お客様の近くで、 きめ細かなサービスをお届けします。

北海道から九州まで、日本全国をくまなくカバーするレンゴーの直営工場は33。

各地の直営工場は、多様なグループ企業を含むレンゴー・ネットワークの中核として、

地域密着型のサービスを提供しています。また、海外はアジア、欧州、中東、米国に142工場と23拠点があり、
お客様のグローバルな包装ニーズをきめ細かくバックアップします。

国内で、そして海外で — 信頼と実績を誇るレンゴーならではのネットワークを駆使して、
お客様のさまざまな包装ニーズに対して最適な提案と製品でお応えします。





"Less is more."

レンゴが考えるパッケージング・イノベーションの基本です。

"Less energy consumption"

エネルギーの消費はできるだけ少なく

"Less carbon emissions"

二酸化炭素の発生はできるだけ少なく

"High quality products with more value-added"

より付加価値の高い高品質な製品づくり



Lの時代、はじまる。 新名古屋工場

"Less is more."を徹底した段ボール工場の"Leading edge"

常に最先端(Leading edge)であり続けること。

それは、包装を通じて社会に貢献する私たちレンゴグループの使命でもあります。

2014年1月に稼働した新名古屋工場も、来るべきリニア(Linear motor)時代を見据えた新たな取り組み。

新工場は段ボールのパイオニアとしての自負を込め、最先端の技術のかずかずと、

地球環境保護のためのさまざまな工夫が詰まっています。

これまでも包装業界の先導役(Leading company)として、「けいぼくたんしょう軽薄炭少」をキーワードに

LCC原紙(Less Caliper & Carbon containerboard)やデルタフルートをはじめ、軽量化(Lightweight)による

段ボールの低炭素化(Less carbon)に取り組んできた私たちレンゴグループ。

今度は、少資源で大きな価値を生む(Less is more.)、

全く新しい段ボール工場を駆使して、パッケージングの未来を切り拓いてまいります。



●新名古屋工場全景



●工場棟屋上太陽光パネル



●ラック式免震自動製品倉庫



●無人搬送車



●コルゲータ全景



●製函設備



日本全国に広がるレンゴの生産工場群

製紙工場

日本一の板紙生産量を誇る 八潮工場

八潮工場は、巨大マーケットである首都圏に向けて、中しん・ライナ・紙管原紙・チップボールといった幅広い製品を供給する高効率の都市型工場。板紙では日本一の生産量を誇ります。板紙の原料のほとんどは、首都圏を中心に発生する段ボール古紙などを活用。バイオマス焼却発電設備など省エネルギー設備の導入でCO₂排出量を大幅に削減するなど、地球環境に優しい工場でもあります。

- 所在地 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋330
TEL:(048)922-1131 FAX:(048)924-8639
- 開設 1964年4月



製紙から印刷、加工まで多様な機能を有する 利根川事業所

利根川事業所は、製紙をはじめ印刷加工など多様な機能を有しています。製紙工場は、規模・設備のみならず、生産量・開発力などの点からも、製紙部門を代表する工場です。白板紙抄造用の1号抄紙機とライナ抄造用の4号抄紙機を備え、バラエティー豊かな製品を供給しています。また、印刷加工部門では、美粧段ボール用加工原紙の東日本の供給基地となっているほか、ビール6缶パックを中心としたマルチパック製品の生産を担う最大の拠点となっています。

- 所在地 〒306-0631 茨城県坂東市岩井5269
TEL:(0297)35-2301 FAX:(0297)35-1484
- 開設 1961年10月



段ボール工場

段ボールの旗艦工場 東京工場

日本最大の需要地である首都圏に位置する東京工場は、日本最大級のコレクターを備えた段ボールの旗艦工場であり、最も長い歴史を持つ工場のひとつです。東京工場は、高度なエンジニアリングとノウハウを結集した段ボール工場として、首都圏マーケットの幅広いニーズに対応しています。原紙の受け入れから貼合・製函・出荷までの全ての工程を統括する生産管理システム「COMETS」で工場全体を一元管理することで生産性を高めるとともに、品質とサービスの向上を徹底しています。

- 所在地 〒332-0004 埼玉県川口市領家5-14-8
TEL:(048)225-7111 FAX:(048)223-7163
- 開設 1937年2月



軽薄炭少[®]を象徴する 福島矢吹工場

国内屈指の規模を誇る約9,000枚にもなる太陽光パネルで、昼間の工場使用電力の全てを賄うのはじめ、クリーンエネルギーであるLNG(液化天然ガス)の採用、多様な省エネ設備の導入など、21世紀の理想の段ボール工場として、レンゴがこれまで蓄積してきた環境技術のノウハウの全てを結集しています。自然の恵みを最大限に活かし、エネルギーの再生・循環利用を図ることで、旧工場に比べ、実に約40%ものCO₂削減を実現、文字どおり「軽薄炭少[®]」を体現する超エコ段ボール工場です。

- 所在地 〒969-0247 福島県西白河郡矢吹町諏訪の前115-1
TEL:(0248)41-2055 FAX:(0248)41-2066
- 開設 2010年5月



製紙工程



●バルバー

●バルバー
パルプ、古紙の繊維をほぐし、解離させ粥状にする。

●クリーナ
スクリーン
異物を取り除く。

●バルバーチェスト

●シクナ
濃縮する。

●シクナチェスト

●ストックタンク

●マンチェスト

●リファイナ
バルバーにより粥状になった原料をさらにほぐし、叩いて枝状化する。

●種箱

[抄紙機]

●ヘッドボックス
原料を噴出する。

●スクリーン

●ワイヤパート
原料をワイヤ上に流して脱水しながら紙層(湿紙)を形成する。

●ワイヤパート

●プレスパート
湿紙にフェルトを介して加圧脱水し、水分を最大限除去する。

●プレスパート

●ドライパート
湿紙を蒸気で乾燥させ、縮みや張りを調整しながら表面を滑らかにし、光沢をつける。

●ドライパート

●カレンダー
紙の表面を平滑にし光沢をつける。

●カレンダー

●ロープーリル
できあがった原紙を巻き取る。

●ロープーリル

●BM計
紙の水分と重量を確認する。

●BM計

●リワインダ
所定の紙幅に切断し、巻き取り原紙に仕上げる。

●リワインダ



製紙工場



金津工場
●所在地
〒919-0698 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-10
TEL:(0776)73-1234 FAX:(0776)73-7038
●開設
1961年5月



尼崎工場
●所在地
〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町1-4-1
TEL:(06)6488-2561 FAX:(06)6489-1122
●開設
1948年4月



段ボールでも
東北の
元気な姿を
一日も早く
包みたかった。

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台工場は、おかげさまで、震災から約1年後となる2012年4月1日、新仙台工場として新たな一歩を踏み出すことができました。

●新仙台工場開業告知新聞広告

段ボール工場



恵庭工場
●所在地
〒061-1405 北海道恵庭市戸磯193-3
TEL:(0123)39-3211 FAX:(0123)32-0127
●開設
1999年1月



旭川工場
●所在地
〒078-8272 北海道旭川市工業団地2条2-2-31
TEL:(0166)36-3622 FAX:(0166)36-4280
●開設
1994年4月



青森工場
●所在地
〒030-0947 青森県青森市大字浜館字科48-1
TEL:(017)742-2331 FAX:(017)743-5311
●開設
1970年9月



新仙台工場
●所在地
〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平6-3-2
第一仙台北部中核工業団地
TEL:(022)344-0070 FAX:(022)344-0071
●開設
2012年4月



小山工場
●所在地
〒323-0804 栃木県小山市大字萱橋1260
TEL:(0285)49-2211 FAX:(0285)49-1771
●開設
1980年5月



前橋工場
●所在地
〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町1144
TEL:(027)263-1611 FAX:(027)263-1619
●開設
1961年11月



千葉工場
●所在地
〒285-0802 千葉県佐倉市大作1-7-1
TEL:(043)498-2331 FAX:(043)498-1541
●開設
1985年9月



湘南工場
●所在地
〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3155
TEL:(0467)74-5112 FAX:(0467)75-5600
●開設
1971年10月



新潟工場
●所在地
〒957-0082 新潟県新潟市佐々木2885
TEL:(0254)27-3481 FAX:(0254)27-3484
●開設
1994年4月



長野工場
●所在地
〒380-0912 長野県長野市大字稲葉字日詰沖1731
TEL:(026)221-2135 FAX:(026)221-0672
●開設
1964年4月



清水工場
●所在地
〒424-0053 静岡県清水区流川200
TEL:(054)348-5100 FAX:(054)345-6454
●開設
1957年4月



豊橋工場
●所在地
〒441-3106 愛知県豊橋市中原町字大1
TEL:(0532)41-3151 FAX:(0532)41-3129
●開設
1972年10月

貼合工程

[コルゲータ]

●スライサ
原紙交換のための高速・自動紙継ぎ機。

●ブリッジ

●シングルフェーサ
中しんを段形成し、原紙(裏ライナ)と貼り合わせて、片面段ボールをつくる装置。

●原紙 ●ミルロールスタンド

●ダブルフェーサ
片面段ボールを原紙(表ライナ)と貼り合わせて、加熱・乾燥する装置。

●スリッタースコアラ
段ボールシートに罫線を入れ、縦方向に裁断する装置。

●カットオフ
段ボールシートを±0.5mmの精度で所定の長さで切断する装置。

●スタッカ
製品となった段ボールシートを
設定数量で積載する装置。

●段ボールシート



●シングルフェーサ



●ミルロールスタンドと原紙



●グルーマシン



●ダブルフェーサ



●スリッタースコアラ



●カットオフ



●スタッカ



段ボール工場



新名古屋工場
●所在地
〒480-0303 愛知県春日井市明知町字朝明1514-82 (明知東工業団地内)
TEL:(0568)93-1670 FAX:(0568)93-1728
●開設
2014年1月



和歌山工場
●所在地
〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月1758-3
TEL:(0736)66-2811 FAX:(0736)66-9009
●開設
1993年10月



鳥栖工場
●所在地
〒841-0061 佐賀県鳥栖市轟木町950-1
TEL:(0942)83-3155 FAX:(0942)83-2577
●開設
1962年4月

セロファン工場



武生工場
●所在地
〒915-0011 福井県越前市上真柄町39-1-2
TEL:(0778)27-1111 FAX:(0778)27-1114
●開設
1934年3月



福井工場
●所在地
〒915-0096 福井県越前市瓜生町18-1
TEL:(0778)24-1361 FAX:(0778)24-1277
●開設
1980年7月



岡山工場
●所在地
〒719-1112 岡山県総社市窪木900
TEL:(0866)92-2331 FAX:(0866)92-1228
●開設
1968年7月



葛飾工場
●所在地
〒124-0001 東京都葛飾区小菅4-2-15
TEL:(03)3601-2111 FAX:(03)3601-7208
●開設
1970年4月



滋賀工場
●所在地
〒520-3042 滋賀県栗東市辻565
TEL:(077)552-2331 FAX:(077)552-2344
●開設
1964年5月



広島工場
●所在地
〒736-0055 広島県安芸郡海田町南明神町1-77
TEL:(082)822-3121 FAX:(082)823-4922
●開設
1961年12月



利根川事業所
●所在地
〒306-0631 茨城県坂東市岩井5269
TEL:(0297)35-2307 FAX:(0297)35-2600
●開設
1999年4月



新京都事業所
●所在地
〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺八反田1
TEL:(075)954-2121 FAX:(075)955-5652
●開設
1975年9月



松山工場
●所在地
〒791-8042 愛媛県松山市南吉田町1861
TEL:(089)972-0511 FAX:(089)972-1478
●開設
1959年10月



新京都事業所
●所在地
〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺八反田1
TEL:(075)954-2121 FAX:(075)955-5652
●開設
2008年4月



三田工場
●所在地
〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク19-1
TEL:(079)568-5111 FAX:(079)568-5564
●開設
1993年4月



防府工場
●所在地
〒747-0833 山口県防府市大字浜方字吉浜横入川1-1
TEL:(0835)38-0655 FAX:(0835)38-0658
●開設
1984年4月

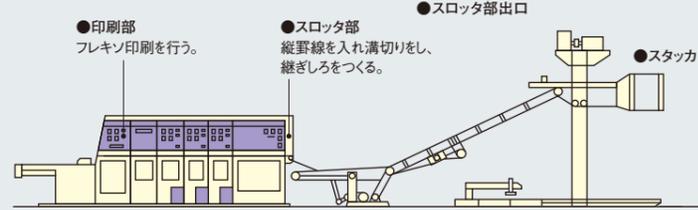
レンゴは、製紙から段ボール、紙器製品に至るまで、FSC® 森林認証を取得しています。



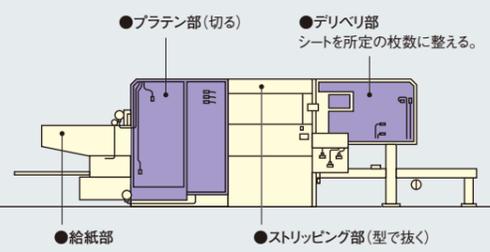
レンゴの段ボール、紙器製品が持続可能な森林資源の保全にも貢献することが認められました。自社で製造した原紙を使用した段ボール、紙器製品のほぼ全てをFSC認証とすることが可能です。

製函工程

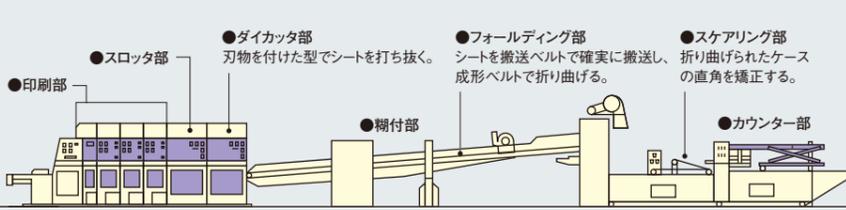
[プリンタ]
段ボールシートに直接印刷する



[ダイカッタ]
印刷された段ボールシートを刃物で打ち抜く



[フレキシフォルダグリア]
印刷とともに糊つけてケースをつくる



レンゴの総合力を支える地域密着型の国内グループ企業

レンゴグループの大きな強みである「板紙から段ボールまでの一貫生産」には、直営工場とグループ企業との効果的な分業が欠かせません。

一方、紙器・軟包装・重包装など段ボール以外の事業を効率的に展開するためには、グループ内でのスムーズな連携が不可欠です。

それぞれの技術・ノウハウを持ち、地域に根ざした国内グループ企業のきめ細かなネットワークが、レンゴグループの総合力をしっかりと支えています。



製紙

丸三製紙株式会社

〒975-0039 福島県南相馬市原町区青葉町1-12-1 TEL:(0244)22-3111 FAX:(0244)22-0650

●主な製造品目 段ボール原紙、特殊紙

大阪製紙株式会社

〒555-0001 大阪市西淀川区佃7-1-60 TEL:(06)6472-6331 FAX:(06)6474-6431

●主な製造品目 白板紙



段ボール/紙器

大和紙器株式会社

〒567-0003 大阪府茨木市西河原北町1-5 TEL:(072)624-1101 FAX:(072)621-0954

●主な製造品目 段ボールシート・ケース、ファイバー容器

セツカートン株式会社

〒664-0845 兵庫県伊丹市東有岡5-33 TEL:(072)784-6001 FAX:(072)784-6688

●主な製造品目 段ボールシート・ケース



東海紙器株式会社

〒457-0841 名古屋南区豊田5-15-15 TEL:(052)691-3121 FAX:(052)692-7521

●主な製造品目 段ボールシート・ケース

日之出紙器工業株式会社

〒899-2513 鹿児島県日置市伊集院町妻生田2158 TEL:(099)273-9100 FAX:(099)273-9112

●主な製造品目 段ボールシート・ケース、美粧紙器

アサヒ紙工株式会社	〒365-8508 埼玉県鴻巣市箕田4070 TEL:(048)596-1151
株式会社朝日段ボール	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分156-2 TEL:(087)874-1313
淡路紙工株式会社	〒656-0143 兵庫県南あわじ市中条中筋1020 TEL:(0799)45-0350
イハラ紙器株式会社	〒424-0065 静岡県清水区長崎310 TEL:(054)345-5151
江戸川段ボール工業株式会社	〒278-0016 千葉県野田市二ツ塚字毛蔵坊96 TEL:(04)7125-5581
株式会社園芸資材センター	〒783-0094 高知県南国市前浜834 TEL:(088)865-0087
大津製面株式会社	〒520-2142 滋賀県大津市玉野浦5-29 TEL:(077)545-4350
加藤段ボール株式会社	〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬5367-1 TEL:(04)7198-2235
九州カートン株式会社	〒846-0012 佐賀県多久市東多久町別府1457-4 TEL:(0952)76-3515
共栄ダンボール株式会社	〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神福9239 併野工業団地 TEL:(0265)35-6288
共和紙業株式会社	〒047-0261 北海道小樽市銭函3-503-8 小樽銭函工業団地 TEL:(0134)62-6211
ケンダン株式会社	〒038-0243 青森県南津軽郡大鰐町八幡館字山下36-1 TEL:(0172)48-5151
株式会社甲府大一実業	〒409-3841 山梨県中央市布施358 TEL:(055)273-2222
株式会社公和産業	〒307-0032 茨城県結城市古宿新田字瀬神123 TEL:(0296)35-0755
株式会社堺商店	〒649-0312 和歌山県有田市星尾216 TEL:(0737)88-5132
境港魚産株式会社	〒684-0034 鳥取県境港市昭和町12-5 TEL:(0859)44-0825
三協段ボール株式会社	〒572-0089 大阪府寝屋川市香里西之町1-5 TEL:(072)834-1021
株式会社サンコー	〒770-0063 徳島県徳島市不動本町2-150 TEL:(088)632-1501
親和紙器株式会社	〒743-0011 山口県光市光井2-18-1 TEL:(0833)71-1055
株式会社杉井工業所	〒294-0045 千葉県館山市北条1310 TEL:(0470)22-7421
大丸板紙加工株式会社	〒503-1263 岐阜県養老郡養老町船見247 TEL:(0584)32-3108

太陽インダストリー株式会社	〒800-0257 北九州市小倉南区湯川4-1-1 TEL:(093)921-0023
大陽紙業株式会社	〒570-0002 大阪府守口市佐太中町6-18-1 TEL:(06)6901-5431
立川段ボール工業株式会社	〒197-0801 東京都あきる野市菅生1561 TEL:(042)559-5511
タルタニパック株式会社	〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町7-1-3 エーリックビル TEL:06-6415-9750
東北旭段ボール株式会社	〒999-8438 山形県飽海郡遊佐町比子字青塚1-1 TEL:(0234)75-3881
東北カートン株式会社	〒990-2346 山形県山形市高木20 TEL:(023)645-3358
東北工業株式会社	〒963-8583 福島県郡山市田村町山中字日照田45 TEL:(024)953-6478
東北紙器株式会社	〒020-0572 岩手県岩手郡雫石町西安庭10-31-1 TEL:(019)692-0333
豊通ニューパック株式会社	〒470-0213 愛知県みよし市打越町石坂2-1 TEL:(0561)33-3988
日段株式会社	〒680-0921 鳥取県鳥取市古海531 TEL:(0857)26-1011
日東紙器工業株式会社	〒636-0103 奈良県生駒郡斑鳩町幸前2-9-13 TEL:(0745)75-6601
博多段ボール株式会社	〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美2447-12 TEL:(092)933-8060
広岡紙器株式会社	〒933-0321 富山県高岡市六家1073 TEL:(0766)31-0522
富士包装紙器株式会社	〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇 日野第二工業団地5-2 TEL:(0748)53-1500
北陸紙器株式会社	〒939-0293 富山県射水市小島91 TEL:(0766)52-3115
マタイ紙工株式会社	〒370-3336 群馬県高崎市神戸町岩下35-1 TEL:(027)374-1121
株式会社ミヤザワ	〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-1 アイクロス湘南 TEL:(0466)37-3030
ヤマヤ株式会社	〒579-8025 大阪府東大阪市宝町14-8 TEL:(072)985-7201
吉川紙業株式会社	〒969-1652 福島県伊達郡桑折町大字成田字元宿2 TEL:(024)582-2184
レノールパワードパッキング株式会社	〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス TEL:(03)5715-8833

軟包装

朋和産業株式会社

〒274-8502 千葉県船橋市習志野4-16-12 TEL:(047)456-5011 FAX:(047)456-5080

●主な製造品目 プラスチックフィルム・紙等による軟包装



重包装

日本マタイ株式会社

〒111-8522 東京都台東区元浅草2-6-7 TEL:(03)3843-2111 FAX:(03)3843-1624

●主な製造品目 樹脂加工品・合成樹脂袋等の各種容器・重包装



トライウォールジャパン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス TEL:(03)6433-0755 FAX:(03)6433-0796

●主な製造品目 重量物段ボール

その他

レンゴロジスティクス株式会社

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島2-15-28 みてまグリーンビル TEL:(050)3381-0150 FAX:(06)6473-0447

●主な事業内容 一般貨物自動車運送業、倉庫業、保険代理業、不動産業

アールイー大本株式会社	〒660-0845 兵庫県尼崎市西高洲町16-23 TEL:(06)6418-4477
株式会社石川製作所	〒924-0051 石川県白山市福留町200 TEL:(076)277-1411
ウルライフ株式会社	〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-5 TEL:(03)6861-3355
グリーン大本株式会社	〒557-0024 大阪市西成区出城1-3-9 TEL:(06)4396-1477
グリーンリサイクル株式会社	〒120-0047 東京都足立区宮城1-4-8 TEL:(03)3927-9311

レンゴ・ノンウープン・プロダクツ株式会社

〒719-1112 岡山県総社市窪木900-5 TEL:(0866)93-9481 FAX:(0866)93-9672

●主な製造品目 不織布

山陽自動車運送株式会社	〒578-0976 大阪府東大阪市西鴻池町3-1-22 TEL:(06)4309-0526
バイオテック株式会社	〒919-0698 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-10 TEL:(0776)73-1234
山田機械工業株式会社	〒285-0802 千葉県佐倉市大2-2-1 佐倉第三工業団地 TEL:(043)498-2711
レンゴパーバービジネス株式会社	〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町1-4-1 TEL:(06)6488-2812

グローバルなパッケージング・ニーズにも応える 海外グループ企業

経済社会のグローバル化がますます進展する中、レンゴグループは、海外でもパッケージング・ソリューションのネットワークを広げています。長年にわたって培ってきたトップレベルの包装技術を活かし、お客様の包装ニーズにグローバルな体制でお応えするとともに、各地の包装文化と経済発展にも貢献しています。



製紙

- 中国**
- 中山聯合鴻興造紙有限公司

ベトナム

- ビナクラフトペーパー社
Vina Kraft Paper Co., Ltd.

段ボール/紙器

- 中国**
- 大連聯合包装製品有限公司
 - 大連国立包装有限公司
 - 天津聯合包装有限公司
 - 青島聯合包装有限公司
 - 無錫聯合包装有限公司
 - 上海聯合包装裝潢有限公司
 - 鴻興印刷集团有限公司
Hung Hing Printing Group Limited



香港本社工場
○グループ本社

- 深圳工場
- 鶴山工場
- 無錫工場
- 中山工場
- 広東聯合包装有限公司

タイ

- タイ・コンテナーズ・グループ社
Thai Containers Group Co., Ltd.



- ナワナコーン工場
Navanakorn Plant
- サムップラカーン工場
Samutprakarn Plant
- ラチャブリ工場
Ratchaburi Plant
- プラチンブリ工場
Prachinburi Plant
- チョンブリ工場
Chonburi Plant
- バツムタニ工場
Patumthani Plant
- ソンクラ工場
Songkhla Plant
- サラブリ工場
Saraburi Plant
- カンバンベツ工場
Kamphaengphet Plant

- タイ・コンテナーズ・ラヨン社
Thai Containers Rayong Co., Ltd.
- タイ・コンテナーズ・コンケン社
Thai Containers Khonkaen Co., Ltd.
- タワナ・コンテナー社
Tawana Container Co., Ltd.
- ダイナ・パックス社
Dyna Packs Co., Ltd.
- オリエント・コンテナーズ社
Orient Containers Co., Ltd.
- D-イン・パックス社
D-In Pack Co., Ltd.

シンガポール

- TCG レンゴ・シンガポール社
TCG Rengo (S) Ltd.

マレーシア

- レンゴ・パッケージング・マレーシア社
Rengo Packaging Malaysia Sdn. Bhd.

インドネシア

- スリヤ・レンゴ・コンテナーズ社
PT Surya Rengo Containers



- 本社/ジャカルタ工場
Head Office/Jakarta Factory
- カラワン工場
Karawang Factory
- スラバヤ工場
Surabaya Factory
- スマラン工場
Semarang Factory

- インドリス・プリンティンゴ社
PT Indoris Printingdo
- プリマコル・マンディリ社
PT Primacorr Mandiri
- インドコル・パッケージング・チカラン社
PT Indocorr Packaging Cikarang

ベトナム

- セツツカートンベトナム社
Settsu Carton Vietnam Corporation
- ニューアジア・インダストリー社
New Asia Industries Co., Ltd.
- アルカマックス・パッケージング(ベトナム)社
Alcamax Packaging (Vietnam) Co., Ltd.
- APパッケージング(ハノイ)社
AP Packaging (Hanoi) Co., Ltd.

米国

- レンゴ・パッケージング社
Rengo Packaging, Inc.

軟包装

- 中国**
- 江蘇中金瑪泰医薬包装有限公司
 - 四川中金医薬包装有限公司



台北

- 台湾朋和股份有限公司

タイ

- TCフレキシブル・パッケージング社
TC Flexible Packaging Co., Ltd.
- プレパック・タイランド社
Prepack Thailand Co., Ltd.
本社/シンサコーン工場
Head Office/Sinsakhon Factory
- サムットソングラム工場
Samutsongkram Factory

ベトナム

- ティン・タイン・パッキング社 (BATICO)
Tin Thanh Packing Joint Stock Company (BATICO)

重包装

- 中国**
- トライウォール社
Tri-Wall Limited
 - 特耐王包装(江蘇)有限公司
 - 特耐王包装(福州)有限公司
 - 上海聖遠包装有限公司

タイ

- トライウォール・パッケージング(タイ)社
Tri-Wall Packaging (Thai) Ltd.
- タイマルソル社
Thai Marsol Co., Ltd.
- プレパック・タイランド社
Prepack Thailand Co., Ltd.
ラヨン工場
Rayong Factory

インドネシア

- マルソリアバディインドネシア社
PT Marsol Abadi Indonesia
- タイヨウマルソルインドネシア社
PT Taiyo Marsol Indonesia

ベトナム

- マタイ(ベトナム)社
Matai (Vietnam) Co., Ltd.

英国

- トライウォール・ヨーロッパ社
Tri-Wall Europe Limited

その他

- 中国
レンゴ(株)上海包装技術センター
朋和(上海)商貿有限公司
上海瑪岱貿易有限公司
連雲港本一新材料科技有限公司
森下塑料貿易有限公司
烟台碩魯塑料有限公司

- タイ
ヤマトシキ(タイランド)社
マタイ朋和パッケージング(タイランド)社

- ベトナム
TOMベトナム社

※トライウォールグループは、グループ本社と
コルゲータマーカのみ記載



あらゆる包装ニーズに応える 多彩な製品をラインアップしています。

物を安全に包み、美しく装う段ボールは、機能性とリサイクル性をあわせ持った包装材として、日常生活になくてはならない存在となっています。

日本における段ボール産業の歴史を創ってきたレンゴは、

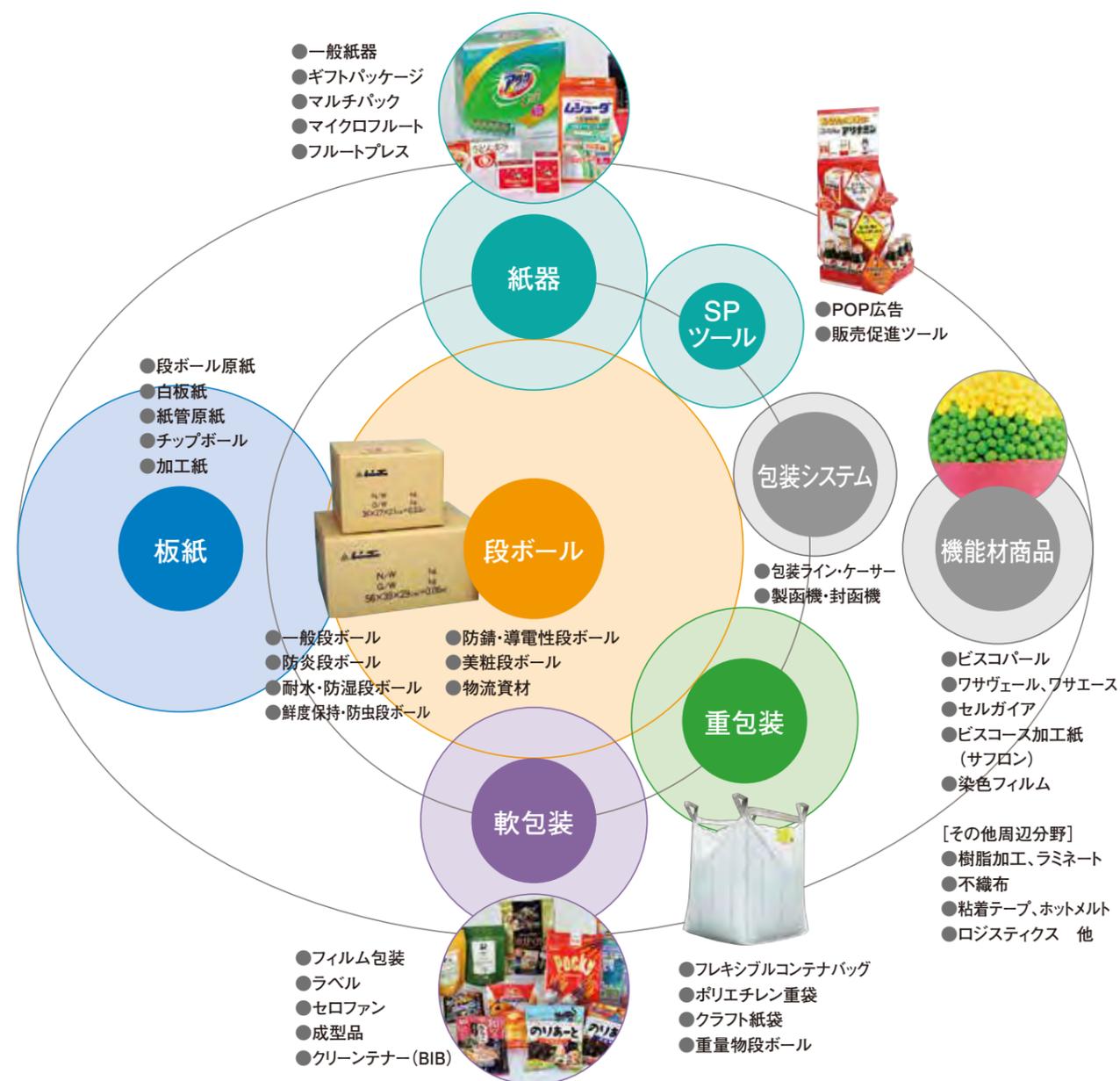
お客様のニーズから発想するビジネスを展開するため、

板紙から段ボールまでの一貫生産システムを基盤として、多彩な製品をお届けできる体制を整えてきました。

段ボールを中心に板紙・包装機械から紙器・軟包装・重包装、そして機能材商品にいたるまで

ひとつひとつの製品は、お客様のニーズに対するレンゴからの回答です。

そこには、パッケージに関わる幅広い知恵と技術、そして培ってきた経験が込められています。



段ボール原紙から白板紙・紙管原紙・チップボール・加工紙まで 板紙

レンゴは、ユーザーオリエントドの製品供給を実現するため、製紙の分野へも事業を拡大。トップクラスの板紙メーカーとして、ライナ・中しんといった段ボール原紙から白板紙・紙管原紙・チップボール・加工紙にいたる幅広い製品を生産・販売しています。



●各種板紙

●加工紙

耐水・鮮度保持・防錆から美粧印刷まで 段ボール

一般的な段ボールはもちろん、耐水・鮮度保持・防錆などの機能を付加した機能性段ボールから、カラフルな印刷で販売効果をも高める美粧段ボールまで、用途に応じたさまざまな段ボールをご提供しています。もちろん、全ての段ボール製品がリサイクル可能です。



機能性段ボール

耐水・防湿段ボール

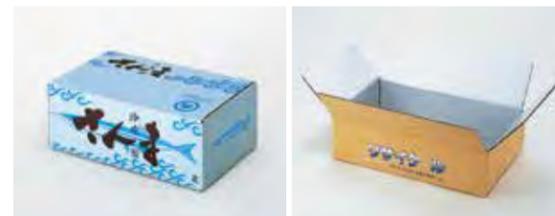
●レンコート(中・軽耐水)、ハイレンコート(強耐水)、ウルトラレンコート(超耐水・高防湿)
ワックス含浸段ボールに匹敵する高い耐水性とリサイクル性を両立した耐水・防湿段ボールです。

保冷段ボール

●リサイクル(保冷・鮮度保持)
裏ライナを特殊な保冷塗工剤でコーティングした段ボールで、青果物、水産・畜産加工品、酒類などの保冷輸送に適しています。

野菜の鮮度を保持する防湿段ボールと鮮度保持剤

●ダンブルーフ(防湿・鮮度保持)
ライナ表面に特殊なコーティング剤を塗工し、青果物の呼吸や水分の蒸発を抑制した防湿段ボールです。
●グリーンバック包装(鮮度保持)
エチレン除去・ガス組成コントロールにより、青果物の鮮度を保ちます。
●コスレン(低摩擦段ボール)
表面の摩擦抵抗を小さくした段ボールで、輸送中の振動によるフィルムや紙ラベルの擦れを軽減することができます。



●ハイレンコート ●リサイクル



●ダンブルーフ ●コスレン

防災段ボール

●RAFEP(ラフェップ)
容易に着火せず、燃え広がらない段ボールです。

金属の腐食を防ぐ段ボール

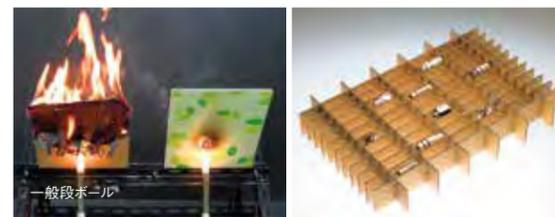
●ガストルデ、サビンデ
段ボールに特殊な薬剤を塗布し錆や腐食を防ぎます。電子製品・銀器などの発錆防止包装に適しています。

導電性段ボール

●ASブラック
静電気の障害の起こりやすいエレクトロニクス製品に適した導電性段ボールです。

防虫段ボール

●バグレス
特殊な薬剤を混合したインクやニスで段ボールシートに塗工することにより、虫を忌避し、侵入を防ぎます。



●RAFEP(ラフェップ) ●ガストルデ

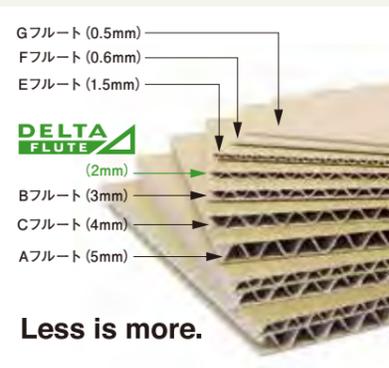


●ASブラック ●バグレス

デルタフルーツ段ボール

『デルタフルーツ』は、これまでにない当社オリジナルの全く新しい段ボール。地球環境への負荷低減と、段ボールの軽量化、高機能化を両立させた、“Less is more.”少資源で大きな価値を生むGPIレンゴのイノベーションです。

- 特徴
- 1 Bフルーツより輸送・保管の効率が上がり、包装のさらなる効率化、合理化を実現します。
 - 2 段ボールのさらなる軽量化を通じて、CO₂排出量を減らし環境負荷を低減します。
 - 3 Bフルーツに比べ平面圧縮強度が高く、より美しくシャープな印刷が可能です。
 - 4 Eフルーツより高強度のため、中間箱の機能を兼ねた外装段ボールとして使用することも可能です。



美粧段ボール

- コルフレックス
- レンプリント・グラビアン
- ユニマーキー



●コルフレックス

物流資材

- RECOパレット
- スリップガード
- シートパレット



●RECOパレット

各種包装形態

段ボール緩衝材



●ジグザグカットクッション ●省資源サイドバッククッション

青果物用段ボール



●いちごを衝撃から守る「宙吊りトレイ」 ●楽々組み立てられるトレイ「ラクッパ(楽Pal)」

リテールメイト® シリーズ

レンゴ スマート・ディスプレイ・パッケージング (RSDP)

売り場起点の発想から生まれた、新コンセプト・パッケージ



これまでの段ボール箱は中身を「守る」「運ぶ」が中心でした。RSDPは、「開けやすさ」「並べやすさ」、さらには「売れる」を追求した、流通現場の課題を解決する、売り場起点で開発された新発想のパッケージです。店舗のバックヤードでの開封や品出し作業の効率化、店頭での演出性の高い陳列による販売促進の実現に加え、倉庫内での商品仕分け作業の効率化にも大いに役立ちます。各種形態を取りそろえ、商品の仕様や特性、売り方に合わせて最適なパッケージをご提案します。



●レンゴ スマート・ディスプレイ・パッケージング (RSDP)

販売促進をバックアップする 紙器

企画・デザインから設計・製造まで、菓子・食品・飲料・雑貨などの商品を魅力的に演出し、販売促進をサポートする多彩な紙器を提供します。

- 一般紙器・ギフトパッケージ 個装箱・内装箱といった一般紙器や、お中元・お歳暮などを包装するギフトパッケージを提案します。
- POP広告 商品特性・売場に適したインパクトのあるPOP広告で、店頭での販売促進をお手伝いします。
- マルチパック 缶やビンなどを数本単位で包装するパッケージです。商品のまとめ売りに適しているのはもちろん、ハンドリング性や美しい印刷によるディスプレイ効果にも優れています。キャップ・イットはペットボトルのまとめ売り用マルチパックのニューフェイスです。



●紙器 ●POP広告 ●マルチパック ●キャップ・イット

美しく包み、優しく保護する 軟包装

フィルム包装・セロファン・成型品など、商品を美しく包み、優しく保護する各種の軟包装をラインアップしています。

- フィルム包装・ラベル レンゴーグループの朋和産業を中心に、各種軟包装、ペットボトル・ガラスビンに適したラベルやストレッチフィルムなど、幅広くご用意しています。
- セロファン 木材パルプを原料としてつくられる透明フィルム。焼却しても有害ガスの発生がなく、土中で分解するなど、環境に優しいフィルムです。医薬品、食品などの包装に適しています。
- 成型品 各種トレイ・カップ・贈答用仕切などに使われており、用途に応じて材質もセレクトできます。
- クリーンテナー (BIB) プラスチックフィルムの内装を段ボールで保護強化した複合容器で、内容品・使用状況に応じて材質・形態を選択できます。充填機を含む全包装工程をシステムとして提供することも可能です。



●フィルム包装 ●ラベル ●クリーンテナー

包装ラインの自動化・省力化を実現する 包装システム

レンゴーはパッケージだけでなく、包装ラインの合理化もシステムでご提案します。

- 各種包装ライン
- 各種ケーサー
- 製函機
- 封函機
- インクジェットプリンタ
- 荷造機械



●ジェミニ・パッケージングシステム

高さ自由自在。通販パッケージの革命!

- ジェミニ・パッケージングシステム
- I-packシステム
- e-Cubeシステム
- Ultipackシステム

あらゆる産業を支える 重包装

多彩なラインアップで、農業分野から食糧品、そして工業原料にいたるまで、あらゆるニーズにお応えします。

- フレキシブルコンテナ 高機能・高品質・クリーン性を兼ね備えたフレキシブルコンテナにおいて、国内No.1シェアを誇るレンゴーグループの日本マタイは、長年にわたって培った製造技術と万全の品質管理のもと、国内およびアジアで多品種のフレキシブルコンテナを生産しています。国内外のお客様のご要望に沿う、オーダーメイドで最適な製品をご提供しています。
- ポリエチレン重袋 日本マタイは国内におけるポリエチレン重袋のパイオニアとして、肥料用をはじめ化学品、園芸、食品など幅広い用途で、業界No.1のシェアを獲得しています。合成樹脂用のガゼット式ポリエチレン重袋を他社に先駆けて開発するなど、常に新たなフィールドに挑戦するとともに、お客様のさまざまなご要望にお応えしています。
- クラフト紙袋 クラフト原紙を多層(1~4層)に製袋したクラフト紙袋は、製品の輸送・保管に最適な包装資材です。長年培った独自の技術で開発された日本マタイの大型クラフト紙袋は、高い品質と高付加価値により、幅広い業界から信頼をいただいています。防虫対策・異物混入防止対策など品質管理の徹底で、衛生的で安心できる製品づくりに努めています。
- トライウォール・パック、バイウォール・パック 強度の高い原紙を用いた三層段ボールおよび二層(複両面)段ボールで、自動車部品、航空機部品をはじめ、電気機械、機械設備、電子部品、ガラス製品等の梱包に使われています。



●フレキシブルコンテナ ●ポリエチレン重袋 ●クラフト紙袋 ●トライウォール・パック

暮らしを快適に彩る 機能材商品

レンゴーはセルロースをはじめ、長年の製紙技術をベースとしてさまざまな機能材商品を開発しています。パッケージと組み合わせることにより、さらに高い機能を発揮するとともに、快適な暮らしのお役にも立っています。

- ビスコパール(多孔性セルロース粒子) 木材パルプを原料とした球状のセルロース粒子です。空気中や水中に薬剤が放出するのを抑える働きがあり、芳香剤や活性炭などの機能剤封入に使われています。
- セルガイア 自然界に存在するゼオライトという鉱物とセルロースから生まれた高機能繊維です。ガス吸着、防カビ性、保水・吸水性に優れ、各種フィルターやマスク、オムツなどに使われています。
- ビスコース加工紙(サフロン) 紙・不織布などを、良質なセルロースパルプから得られるビスコースでコーティングした加工紙。透気度の調節ができ、耐熱水性、湿潤強度に優れているため、防虫剤、薬品、食品などの包材や全熱交換素子の素材として使われています。
- ワサヴェール、ワサエース(天然系抗菌剤・防カビ剤) ワサビ・カラシの成分を利用した抗菌・防カビ剤。フィルムに加工して食品の日持ち向上剤に使われているほか、分包して靴やカバンなどの防カビ剤などにも活用されています。
- 吸水マット・吸水シート 熱ロールまたは熱風で繊維を融着させたサーマルボンドタイプ不織布で、オムツの表面材を中心とした衛生材料や、青果物・魚などから出る水分・結露水を吸水する鮮度保持材などとしても使われています。
- 染色フィルム 自動車の日照調節用フィルム、ビル窓貼りフィルムとして使用されています。濃色・淡色および紫外線カット加工が可能です。



●ビスコパール ●セルガイア ●ビスコース加工紙(サフロン) ●ワサヴェール

研究・技術開発部門は3つのサポート体制で、包装に関するさまざまな課題を解決します。

商品を「守る」、美しく「装う」、情報を「伝える」、そして人にも環境にも優しく…。

多面的な機能を持つ包装は、お客様と消費者をつなぐメディアとして、日々進化を続けています。

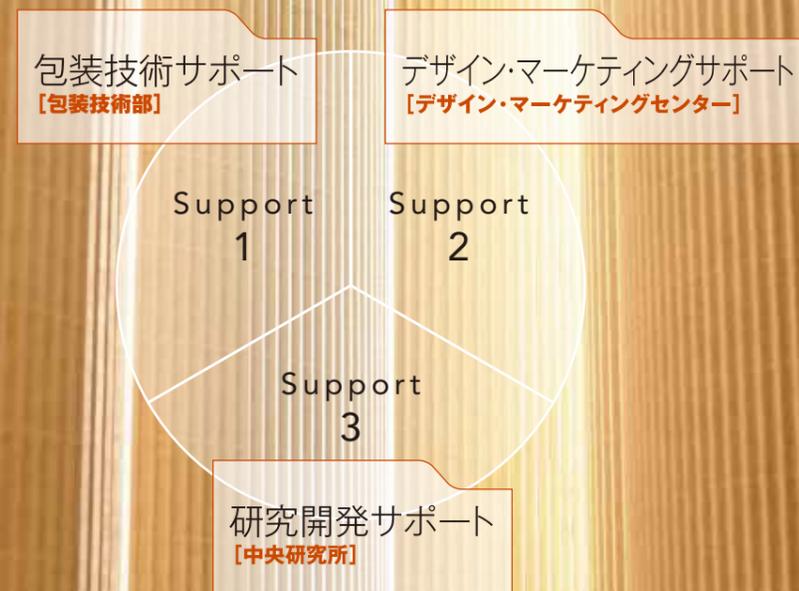
レンゴーは、「包装技術」「デザイン・マーケティング」「研究開発」という3つの側面から、

包装に関するあらゆる課題の解決をサポート。

膨大なパッケージング・テクノロジーの蓄積を基盤として、

商品の開発・包装工程・物流から店頭での販売促進にいたるまで、

お客様の商品がたどるあらゆるシーンに対応するトータルなソリューションを提供します。



Support 1 包装技術サポート

【包装技術部】

包装士の営業マンと「包装技術部」が連携し、パッケージに関わる技術的な課題に対応します。

お客様の商品を安全に消費者へお届けするためには、商品の特性や輸送・保管などの物流条件を考慮して、包装の形態・寸法・材料を選択する必要があります。レンゴーは、包装士の資格を持つ営業マンと包装技術部を中心に全国に配置された包装技術員との緊密な連携により、パッケージに関わる技術的な

課題にきめ細かく対応。安全包装はもちろん、リサイクルのしやすさ、使いやすさ、輸送効率、コストパフォーマンスも考慮した最適な包装設計を提案するとともに、材料試験や包装貨物試験なども行っています。また、新しい包装技術の開発や包装・物流に関するタイムリーな情報の提供も行っています。



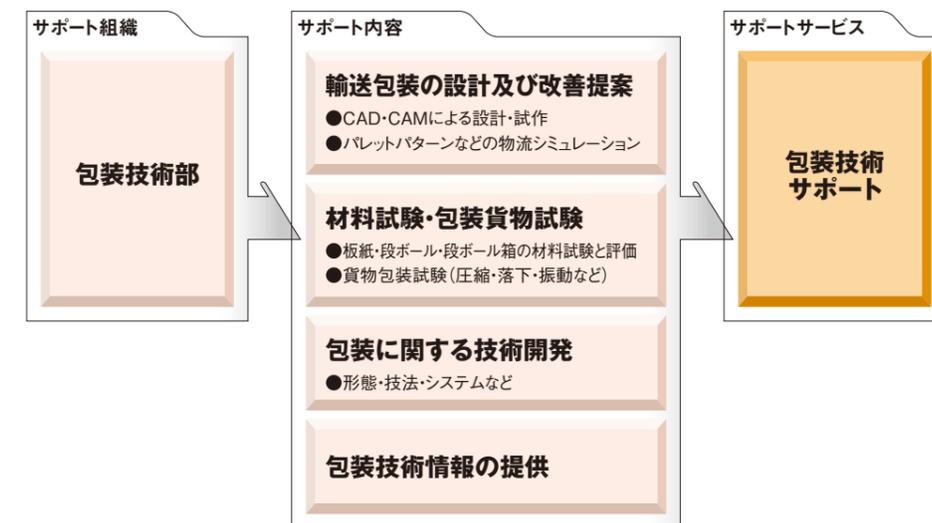
包装設計のポイント
内容品や箱の形状にあわせて適切な寸法を設定する「寸法設計」、物流条件を考慮して適切な材質を設定する「強度設計」、設計した包装に問題がないかを確認する「包装試験」を組み合わせて、ニーズに合致する最適な仕様を提案しています。



包装技術センター



包装の安全性や機能性を検証する各種設備
包装技術部では、物流過程の温度・湿度を再現する「環境試験室」、「電動型振動試験装置」などの設備で、包装の安全性や機能性を科学的に分析しています。



段ボール製緩衝材の提案
長年培ってきた段ボール設計のノウハウを活かし、発泡スチロールに代わる段ボール製緩衝材を提案しています。

Support 2 デザイン・マーケティングサポート

[デザイン・マーケティングセンター]



商品企画・パッケージデザインから店頭での販売促進まで、「売れる商品」づくりをトータルにバックアップします。

お客様先のパートナーとして、商品企画からパッケージデザインまで、マーケティングを起点としたコンサルティング、デザイン提案を行う専門チームがデザイン・マーケティングセンター（DMC）です。段ボールや中間箱といった外装は、ただ「運ぶ」というためだけでなく、店頭でのプロモーションツール

として活用できるメディアです。リアルタイムで消費の動向と変化を把握し、鮮度の高いマーケティング情報に基づき、もっと売れる可能性を模索し具現化して提案します。パッケージを通じて、お客様先の商品開発から販売促進まで、「売れる商品」づくりをトータルにバックアップします。



きめ細かなマーケティング情報の提供
消費トレンドの分析と将来予測、消費者ニーズや受容性の調査、売場でのパッケージの見せ方研究など、「売れる商品」づくりの前提となるさまざまなマーケティング情報を提供します。



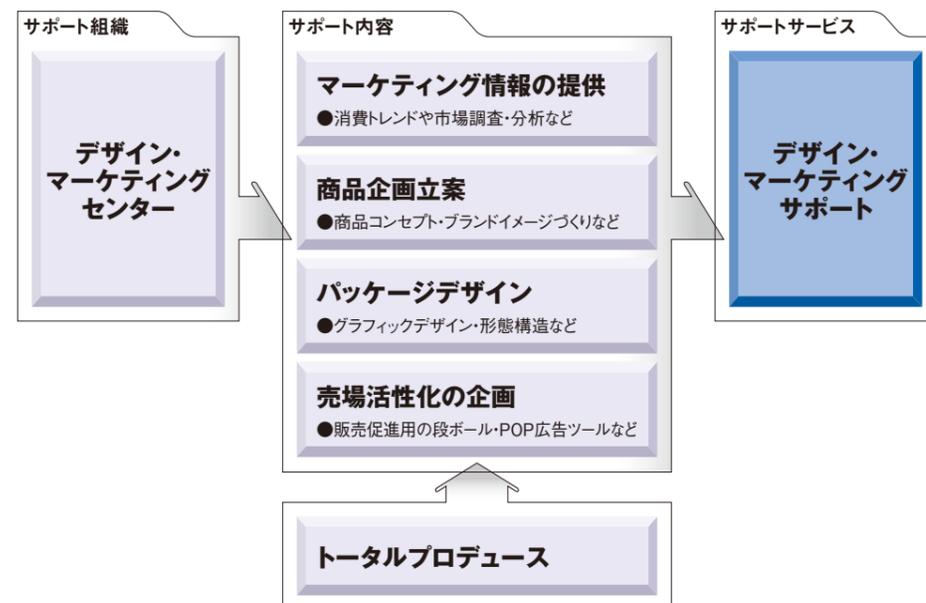
●ベントアワード2017 銅賞受賞
「干物贈答箱」高橋水産株式会社様



●ベントアワード2017 銅賞受賞
「ビューリナ通販ケース」ネスレ日本株式会社様



デザイン・マーケティングセンター



Support 3 研究開発サポート

[中央研究所]

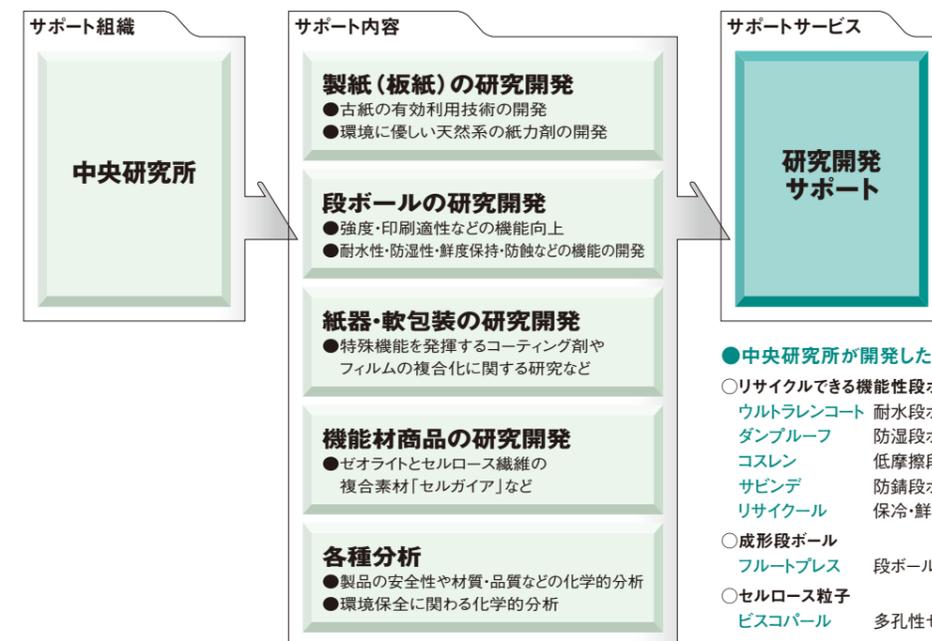
段ボールのパイオニアとして、素材から製造技術にいたる研究開発により、時代が求める製品を生み出します。

日本で初めて段ボールを事業化したレンゴーは、革新的な製品を次々と生み出してきました。その原動力となっているのが、中央研究所を中心とする研究開発体制です。中央研究所では、主要製品群を取り巻く幅広いフィールドで、さまざまな研究開発を行っています。その研究内容は、耐久性・防湿性・鮮度保持と

いったさまざまなパッケージ機能の実現から、環境に優しい製品やセルガイアをはじめとする機能材商品の開発まで多種多様。さらに省エネ・省資源製造技術や廃棄物の利用技術の開発と、製品の安全性・品質などの化学的な分析、環境関連の分析など環境保全を目指した研究にも取り組んでいます。



中央研究所



中央研究所の開発素材「セルガイア」



●セルガイア
従来の製法に比べ、ゼオライトの付着率を飛躍的に高めることに成功しました。

セルガイア応用製品



●文化財を有害ガスから守る「GasQ」



●臭わない抗菌クロス「フルガードクロスPro」



●レアアース不使用蛍光灯「ガイアフォトン」

●中央研究所が開発した主な製品

- リサイクルできる機能性段ボール
 - ウルトラレンコート 耐水段ボール
 - ダンブルーフ 防湿段ボール
 - コスレン 低摩擦段ボール
 - サビンデ 防錆段ボール
 - リサイクルール 保冷・鮮度保持段ボール
- 成形段ボール
 - フルーツプレス 段ボールを熟成形した100%紙製の成形品
- セルロース粒子
 - ビスコパール 多孔性セルロースビーズ
- 高機能繊維
 - セルガイア セオライトとセルロース繊維の複合による高機能繊維

軽薄炭少[®] (CO₂削減)

人と地球の未来を考えた、環境への取り組みのキーワードです。

「リサイクルの優等生」といわれる段ボールを育ててきたレンゴーには、地球の資源を大切にしようとする企業文化があります。

1999年(平成11年)には、その精神を明文化した「環境憲章」を制定し環境委員会を、そして2005年(平成17年)には、CSR委員会を設け環境保全のみならず、

全社をあげて企業の社会的責任を果たすための体制を整えました。

すでに環境マネジメントに関する国際規格であるISO14001は全工場での取得が完了。

これからも古紙の有効活用の推進、省エネルギー設備の積極的導入、CO₂排出量の少ない燃料への転換、廃棄物の有効利用等を通じ、

地球環境の保全に配慮した経営を実践することが、

企業の持続的な発展に不可欠であるとの認識に立ち、

「軽薄炭少[®]」を合言葉に全社をあげて継続的に取り組んでまいります。

CSR経営の推進

レンゴーはCSR経営を推進するために、CSR委員会のもとに5つの委員会を設けて、株主やお取引先、地域社会の方々をはじめ、さまざまなステークホルダーの皆様に対し、良き企業市民として社会的責任を果たせるよう取り組んでいます。



生産システムを通じた「軽薄炭少[®]」

CO₂排出量27%削減

レンゴーでは、省エネルギー設備の積極的導入やより環境負荷の低いクリーンなエネルギーの採用など、地球環境に大きな影響を与えるCO₂排出量の削減に取り組んでいます。エネルギー効率の高いガスエンジンや、製造工程から出る廃棄物を燃料として利用するバイオマス焼却発電設備の導入、ボイラー燃料を重油からCO₂換算係数の低いLNG(液化天然ガス)や都市ガスへの転換も積極的に進めています。さらに段ボール工場としては初めての大規模太陽光発電設備の導入などにより、2016年度には27%(1990年度比)のCO₂排出量削減を達成しています。

そして今、新たな目標として2020年までに32%削減、さらに2050年には半減を目指しグループをあげて取り組んでいます。

廃棄物の削減

段ボールの製造時に発生する段ボール端材は、自社の製紙工場ですぐに再生しているのははじめ、レンゴーの古紙利用率は98.3%(2016年度)に達しています。また、「ラガーローブ破砕分別機」の導入により、これまで廃棄物として処理していたラガーローブを破砕し、鉄屑とプラスチック屑に分別することで資源としての活用が可能になりました。

水質・大気汚染防止

水は板紙の生産に欠かせない大切な資源です。製紙工場では、以前から水の有効利用に取り組んでいましたが、現在では平均10数回もの循環利用を行っています。また、繰り返し使用した水についても、規制値を下まわらない水質に戻し、河川などへ放流しています。大気汚染防止では、クリーンなエネルギーへの転換とともに「排煙脱硫装置」「排煙脱硝装置」の設置により、SO_x、NO_xの削減にも努めています。

パッケージを通じた「軽薄炭少[®]」

環境に優しいC&デルタフルート

Cフルートとデルタフルートは従来よりも段の高さが約1mm薄い段ボールです。段ボールシートが薄くなることで、積載効率の向上、保管スペースの削減が図れます。さらに、軽量LCC原紙との相乗効果により、大きなCO₂削減効果を発揮します。レンゴーでは、3R、すなわち「Reduce」(削減)、「Reuse」(再利用)、「Recycle」(再生)という考えを基本として、環境負荷の少ない製品の研究・開発及び設計に努めています。

段ボールのリサイクルマーク

段ボールのリサイクルマークは、国際段ボール協会が定めた世界共通のシンボルマークです。レンゴーグループは、使用済み段ボールの適正なリサイクルを促進するため、リサイクル可能な製品に「段ボールのリサイクルマーク」を表示することを提案しているほか、普及・啓蒙にも積極的に取り組んでいます。これらの取り組みの結果、わが国の段ボールの回収率は2016年で97%^{*}に達しています。

^{*}出典 段ボールリサイクル協議会



●太陽光発電設備



●木質チップバイオマスボイラー発電設備



●再生される段ボール古紙



レンゴーの社会貢献活動

南極観測隊への支援

レンゴーは南極観測隊に対して、発足当初から物資を梱包する段ボール箱を提供し、学術調査を支援しています。

オーケストラ・アンサンブル金沢への支援

世界に発信するオーケストラとして、わが国クラシック界に常に新風を巻き起こしているオーケストラ・アンサンブル金沢。レンゴーはヴァイオリンの貸与やコンサートの後援など継続的な支援を行っています。

利根川事業所「納涼大会」の開催

利根川事業所では毎年、地域の皆様をお招きして、納涼大会を開催。例年3,000名近い参加者で賑わいます。



レンゴの歴史は 段ボールの歴史

レンゴの創業者・井上貞治郎が日本の段ボールの歴史を拓く

レンゴの歴史は、そのままが国の段ボールの発展史といえるものです。

1909年(明治42年)、創業者・井上貞治郎はレンゴの前身である三盛舎(後に三成社)を設立し、日本で初めて段ボールの事業化に着手しました。苦勞に苦勞を重ねやっとの思いで完成させた製品に、段のついたボール紙で語呂も良く覚えやすいとして「段ボール」と井上が命名したのがそのはじまりです。

軽くて丈夫、安価で大量生産や印刷



創業者・井上貞治郎

も可能、しかも折り畳めてリサイクルもできるという特長を持つ段ボールは、またたく間に需要を伸ばし、それまで物流包装材の主流であった木箱その他にとって代わっていききました。

1920年(大正9年)には、「紙を聯ね合わせて包装容器をつくる会社」との意から「聯合紙器株式会社」を設立し、本格的な生産を開始します。1923年(大正12年)、折しも関東大震災に見舞われたこの年には、災害という大きな打撃を乗り越えて、原紙製造から段ボール製造、さらには段ボール箱製造までの一貫した生産体制を確立。わが国の段ボール産業の基盤は、まさにここに築かれ、育まれていったといえるでしょう。

その後さらに、原紙から段ボール箱までを合理的に一貫生産できる、理想の近代



段ボール製造機1号(復元機)

的大規模工場の建設に着手し、1936年(昭和11年)には当時東洋一といわれた淀川工場を完成させる一方で、大正から昭和にかけて、常に新しい需要を開拓し、電球・缶詰・麦酒・陶磁器・衣類など段ボールの新しい需要に次々と応えてきました。

これらのたゆまぬ努力の結果、拠点網は遠く東アジアにまで及び、トップメーカーとして業界をリードする今日のレンゴグループの基礎が築かれることになったのです。

戦後の段ボール需要の拡大にともない、設備の拡充と近代化を推進

戦後は、比較的被害も軽微であった淀川工場を軸に全国供給網の整備を図り、主要工場の統合、地方営業所や工場・出張所の開設、関係会社の設立など積極的な事業展開を進め、わが国の輸出拡大にともなう段ボール需要の増加に応じていくことで、業界での地位は確かなものとなりました。当時の水産物、中でも冷凍魚はほぼ全量を手掛け、用途の広がりは陶磁器、缶詰、さらには果実包装までにも及んでいきました。



1936年(昭和11年)完成当時の淀川工場

これら戦後段ボール需要が急伸する中で、1953年(昭和28年)、業界に先駆け最新鋭の輸入段ボール製造機(コルゲータ)を東京第一工場に導入し、生産設備の拡充と近代化の先陣を切るとともに、コルゲータの高速化をはじめとするその後の段ボール製造技術の開発においても常に業界をリードしてきました。

1961年(昭和36年)には、段ボール原紙の自給自足体制を強化するという観点から大規模製紙工場である利根川製紙工場を開設。同工場は最新の抄紙機と付帯装置を備え、原紙の自給率を倍増させるとともに、相次ぐ段ボール工場の新設ともあいまって、一貫体制をより一層充実させることとなりました。

包装の多様化に応え、総合包装企業としての地位を確立

生産設備の近代化だけにとどまらず1970年(昭和45年)には今日の総合包装企業への礎となった「トータル・パッケージング・システム」を提唱し、包装材料からデザイン、配送方式にいたるまで、お客様の商品企画の段階から参画する



1940年(昭和15年)当時の段ボール箱

ことによって、最適な包装体系の提供を目指しました。

1972年(昭和47年)には、「聯合」から「レンゴ」という親しみやすい社名へと変更。この社名変更も、「段ボールを柱に新たな分野への進出により、総合包装企業としてのあるべき姿を確立する」という意欲のあらわれでした。

また、消費社会の成熟化とともに包装の美粧化へのニーズが高まる中で、原紙段階から印刷を行うプレプリント段ボール箱「コルフレックス」といった高精度印刷技術を開発、さらにコルゲータの連続運転技術の確立という段ボール製造技術の革新的進化ともあいまって、段ボールをはじめとしたパッケージに「装い」という新たな世界を切り拓いたのでした。



コルゲータ(東京第一工場)



りんご生産地でのPR

創業者 井上貞治郎の経営哲学＝「きんとま」哲学

レンゴの創業者である井上貞治郎は、苦心惨憺、試行錯誤のすえに段ボールをつくり上げました。今では一般的な名称となっているこの「段ボール」という名前を最初に命名したのも井上です。その艱難辛苦の経験の中から、井上は独自の経営哲学を会得します。それは「きんとま」というものです。

「きんとま」とは、「きん」はお金と、金鉄のように固い意志を表し、「と」は英語でいうand、「ま」は真心の真と、間を意味します。この「間」という字の上に「時」をつければ「時間」、「空」をつければ「空間」、「人」をつければ「人間」になります。

すなわち「きんとま」とはgold and timing、金鉄の意志・金・真・間の四つを握ったら死んでも離すなという商売の鉄則であり、タイミング、チャンス、商機を逃さず、人・モノ・金と心を大切に経営をせよと説く貞治郎翁の遺語です。現代風にいえば「お金と強い意志を持ち、人、時間、ものを大切にしながら真心をこめて事業経営をしなければならぬ」ということになるでしょうか。レンゴには、創業以来この「きんとま」哲学という理念、行動基準が脈々と流れています。



新時代のパッケージングを 目指して生産体制を拡充

1980年代、本格的な情報化時代を迎える中、コンピュータによるシステム化にも業界に先駆けて取り組むとともに、包装に対してより多様化するユーザーニーズに応えるため、周辺分野へも積極的に進出。オフセット印刷を含む紙器部門の整備、紙おむつなどでのニーズが高まる不織布、段ボール原紙に印刷やアルミ箔、フィルムなどを貼付・付着させた加工原紙、より消費者包装に近い軟包装やマルチパック、包装機械といった段ボール周辺の事業分野へ漸次参入しました。

さらに、東南アジア諸国や中国の経済的興隆に対し、紙・包装業界の先陣を切って1990年(平成2年)マレーシアでの合弁段ボール工場開設を手はじめに、シンガポール、タイ、インドネシア、中国、ベトナム、米国へと順次展開し、業界随一のネットワークを誇っています。

事業領域の拡充や海外進出と並行して、1990年(平成2年)に中央研究所と包装技術センターを新増設し研究開発体制の充実を図ると同時に、1991年(平成3年)福井化学工業(株)(板紙生産)を合併、大阪(現三田)をはじめ老朽化した段ボール工場を順次移転して新鋭機械を配備するなど生産体制の整備充実も着々と進めてきました。

「セッツ」との合併により、 一貫生産体制をさらに強化

1999年(平成11年)には、大手板紙メーカーのセッツ(株)と合併。名実共に板紙、段ボールの一貫メーカーとしての地歩を築きました。

合併に際しては、抄紙機の統廃合を行い需要に見合った新しい生産体制を構築するとともに、セッツの段ボール部門をセッツカートン(株)として分社化、併せて、その他の段ボール部門グループ会社の統廃合も進め、業界全体の構造改革をリードしました。

これにより古紙も含めた、製紙、段ボール、三位一体での業界の改革と地位向上に大きく貢献しました。

ゼネラル・パッケージング・ インダストリー = GPIレンゴ

創業100周年を迎えた2009年(平成21年)、大手重袋・樹脂加工メーカーの日本マタイ(株)を、また2013年にはマルソルホールディングス(株)(日本マタイと合併)をグループ化し、従来の製紙・段ボール・紙器・軟包装に重包装を加え、お客様のいかなる包装ニーズにもお応えする体制をさらに充実させました。

そして、2016年(平成28年)10月、重量物段ボールの世界的ブランドを有するトライウォール・ホールディングス社をグループ化し海外事業をさらに充実させました。レンゴグループは、たゆまぬ意識改革とイノベーションを通じて、より広範な領域でパッケージングの新たな価値を創造し、あらゆる産業の全ての包装ニーズに積極的に働きかける提案型の企業グループ「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」= GPIレンゴとして、日本で、世界で、次の100年に向けた躍動と挑戦を続けています。



段ボール製空調ダクト「コルエアダクト」



八潮工場7号抄紙機

時代と段ボール、 レンゴのあゆみ

1909 第1次世界大戦 井上貞治郎、独立自営を決意(のちにこの日、4月12日を創立記念日とする)
各種工業新増設 東京品川に三盛舎を設立し、わが国初の「段ボール」事業を創始
片面段ボールを作り、「段ボール」と命名する
三成社に改称しドイツ製巻き取り段ボール機を輸入
「段ボール箱」を製造

1920 関東大震災 関連5社が合併し聯合紙器株式会社を設立(資本金200万円)
大正デモクラシー 日本製紙(株)を買収し千船工場とする
震災で本社・東京工場などを焼失し本社を大阪へ移転
応用製品「稚蚕飼育函」「衣裳函」などを発売

1930 昭和恐慌 原紙から段ボールまでを一貫生産する淀川工場を完成
日本の輸出拡大 家電・缶詰・麦酒・陶器・衣類など需要分野拡張
2・26事件 朝鮮・台湾・中国に工場・子会社を設立
第2次世界大戦 東京電気(株)(現・(株)東芝)と資本提携

1940 太平洋戦争 国内6工場を空襲で焼失、在外地資産は喪失
新憲法発布 民生生産を再開、冷凍鯨肉・缶詰用の需要開拓
東西の冷戦化 株式上場(資本金1,000万円)
戦時経済統制の下で軍需生産

1950 サンフランシスコ講和条約 ミカン・リンゴ・冷凍魚の段ボール包装化進む
「もはや戦後ではない」 コルゲーター印刷機の新機種を開発
家庭電器ブーム 生産設備を近代化し需要増加に応える
本社研究所(後の中央研究所)を開設
創業者井上貞治郎の自叙伝がTVドラマや映画になり「流転」ブーム

1960 貿易自由化 利根川製紙工場建設、段ボール工場も新設相次ぐ
東京オリンピック 創業者井上貞治郎逝去(1963年11月10日)
GNP世界2位 アメリカから技術導入、段ボール箱の機能が多様化
「グラビアン」など原紙に事前印刷したプレプリントの段ボール箱を開発
生産設備の技術革新が進展

1970 日本万国博覧会 聯合紙器株式会社からレンゴ株式会社に社名変更
日本列島改造論 5色印刷の美粧ケース「コルフレックス」を開発
第1次石油危機 コルゲーター連続運転装置を開発
第2次石油危機 ノーフインガー・シングルフェーサを開発実用化
製紙・段ボールの自社開発技術を世界各国へ輸出

1980 円高不況 不織布など周辺分野を拡張
大型長期好況 シンガポールに海外進出の拠点開設
東西冷戦終結・ベルリンの壁崩壊 マレーシア・シンガポール・タイで段ボールの合弁会社設立
地価・株価高騰

1990 バブル景気終わる 包装技術センターを開設
複合不況 系列の福井化学工業(株)を合併
阪神淡路大震災 コンピュータによる統合生産管理システム完成
ユーロ誕生 中国・インドネシア・フィリピンにも製紙・段ボールの合弁会社設立
失われた10年・ゼロ金利政策 朋和産業(株)を系列化し軟包装事業へ進出
セッツ(株)と合併、製紙・段ボールの一貫生産体制を強化

2000 「聖域なき構造改革」丸三製紙(株)を系列化
米国で同時多発テロ発生 板紙段ボール業界改革に着手
スマトラ沖大津波 Cフルート段ボールを本格導入
北京オリンピック バイオマス焼却発電設備等省エネルギー設備強化
原油・資源価格の高騰 京都工場に太陽光発電設備を導入
リーマン・ショック 京都工場と桂工場を統合し段ボール・紙器一体型の新京都事業所が発足
創業100周年(2009年4月12日)
日本マタイ(株)を系列化

2010 上海万国博覧会 ベトナムにて合弁による製紙新工場が本格稼働
東日本大震災 福島県矢吹町にCO₂排出量を40%削減した福島矢吹工場が完成
アベノミクス 壊滅的被害を受けた仙台工場に代わり、東日本大震災から1年で新仙台工場を完成
段ボールの新規格「デルタフルート」を開発
マルソルホールディングス(株)(日本マタイと合併)を系列化
愛知県春日井市に国内最大級のラック式免震自動倉庫を持つ新名古屋工場が完成
丸三製紙(株)にライナ用8号新抄紙機が完成
トライウォール・ホールディングス社を系列化
金津工場のライナ併抄化改造設備竣工
淀川工場を閉鎖

会社概要

社名	レンゴー株式会社
本社	〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー TEL:(06)6223-2371
東京本社	〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス TEL:(03)6716-7300
ホームページ	http://www.rengo.co.jp
創業	1909年(明治42年)4月12日
設立	1920年(大正9年)5月2日
事業内容	1. 段ボール、段ボール箱、紙器、その他紙加工品の製造・販売 2. 板紙(段ボール原紙、白板紙、紙管原紙等)の製造・販売 3. 軟包装製品、セロファンの製造・販売 4. 重包装製品(ポリエチレン重袋、クラフト紙袋、コンテナバッグ等)、樹脂加工品の製造・販売 5. 包装関連機械の販売 6. 各種機能材商品(多孔性セルロース粒子、ゼオライト高機能バルブ、ワサビ・カラシ成分を利用した天然系抗菌剤等)の製造・販売 7. 不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業 ほか

Corporate Profile

◎研究所・包装技術部

中央研究所	TEL:(06)6465-5067 〒553-0007 大阪市福島区大開4-1-186
中央研究所(福井)	TEL:(0776)73-7032 〒919-0604 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-10
包装技術部(東京)	TEL:(048)225-7600 〒332-0004 埼玉県川口市領家5-14-8
包装技術部(大阪)	TEL:(06)6465-5068 〒553-0007 大阪市福島区大開4-1-186
上海包装技術センター	TEL:+86-21-5055-0347 〒201206 中国上海市自由貿易試験区金湘路1111号

◎工場・営業所

■製紙工場

利根川事業所	TEL:(0297)35-2301 〒306-0631 茨城県坂東市岩井5269
八潮工場	TEL:(048)922-1131 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋330
金津工場	TEL:(0776)73-1234 〒919-0698 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-10
尼崎工場	TEL:(06)6488-2561 〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町1-4-1

■段ボール工場

●北海道事業部

恵庭工場	TEL:(0123)39-3211 〒061-1405 北海道恵庭市戸磯193-3
函館営業所	TEL:(0138)49-1931 〒041-0824 北海道函館市西栢梗町589
帯広営業所	TEL:(0155)62-4542 〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18-19
北見営業所	TEL:(0157)36-8091 〒099-1587 北海道北見市豊地26-14
旭川営業所	TEL:(0166)36-3622 〒078-8272 北海道旭川市工業団地2条2-2-31
釧路駐在所	TEL:(0154)57-3911 〒084-0925 北海道釧路市新野24-995
旭川工場	TEL:(0166)36-3622 〒078-8272 北海道旭川市工業団地2条2-2-31

●東北事業部

青森工場	TEL:(017)742-2331 〒030-0947 青森県青森市大字浜館字科48-1
八戸営業所	TEL:(0178)43-3910 〒031-0086 青森県八戸市八日町36
秋田営業所	TEL:(018)865-3015 〒010-0951 秋田県秋田市山王4-6-20
新仙台工場	TEL:(022)344-0070 〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平6-3-2
山形営業所	TEL:(023)686-9502 〒990-2161 山形県山形市漆山字大段1850-23
盛岡営業所	TEL:(019)692-0201 〒020-0572 岩手県岩手郡豊石町西安庭10-31-1
福島矢吹工場	TEL:(0248)41-2055 〒969-0247 福島県西白河郡矢吹町諏訪の前115-1

●関東事業部

小山工場	TEL:(0285)49-2211 〒323-0804 栃木県小山市大字萱橋1260
水戸営業所	TEL:(029)241-9233 〒310-0851 茨城県水戸市千波町728-1
前橋工場	TEL:(027)263-1611 〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町1144
東京工場	TEL:(048)225-7111 〒332-0004 埼玉県川口市領家5-14-8
千葉工場	TEL:(043)498-2331 〒285-0802 千葉県佐倉市大作1-7-1
湘南工場	TEL:(0467)74-5112 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3155
甲府営業所	TEL:(055)244-3411 〒409-3841 山梨県中央市布施358
新潟工場	TEL:(0254)27-3481 〒957-0082 新潟県新発田市佐々木2885

●中部事業部

長野工場	TEL:(026)221-2135 〒380-0912 長野県長野市大字福葉字日詰沖1731
松本分工場	TEL:(0263)48-1211 〒390-1242 長野県松本市大字和田5511-8
松本営業所	TEL:(0263)48-5757 〒390-1242 長野県松本市大字和田5511-8

◎国内グループ企業

●製紙 2社 ●段ボール / 紙器 44社 ●軟包装 / 重包装 5社 ●その他 19社

◎海外グループ企業

●アジア、欧州、中東、米国 142工場 23拠点

清水工場	TEL:(054)348-5100 〒424-0053 静岡県清水区渋川200
豊橋工場	TEL:(0532)41-3151 〒441-3106 愛知県豊橋市中原町字大池1
新名古屋工場	TEL:(0568)93-1670 〒480-0303 愛知県春日井市明知町字頓明1514-82
鈴鹿営業所	TEL:(059)375-3360 〒513-0828 三重県鈴鹿市阿古曾町30-9
福井工場	TEL:(0778)24-1361 〒915-0096 福井県越前市瓜生町18-1
金沢営業所	TEL:(076)214-1909 〒920-0362 石川県金沢市古府1-203

●近畿事業部

滋賀工場	TEL:(077)552-2331 〒520-3042 滋賀県栗東市辻565
新京都市事業所	TEL:(075)954-2121 〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺八反田1
三田工場	TEL:(079)568-5111 〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク19-1
和歌山工場	TEL:(0736)66-2811 〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月1758-3

●中国・四国・九州事業部

岡山工場	TEL:(0866)92-2331 〒719-1112 岡山県総社市窪木900
鳥取営業所	TEL:(0857)23-0022 〒680-0843 鳥取県鳥取市南吉方1-114-3
広島工場	TEL:(082)822-3121 〒736-0055 広島県安芸郡海田町南明神町1-77
山陰営業所	TEL:(0859)44-2282 〒684-0034 鳥取県境港市昭和町12-5
松山工場	TEL:(089)972-0511 〒791-8042 愛媛県松山市南吉田町1861
東四国営業所	TEL:(0879)26-1633 〒769-2601 香川県東かがわ市三本松1157-3
高知営業所	TEL:(088)865-0084 〒783-0094 高知県南国市前浜834
防府工場	TEL:(0835)38-0655 〒747-0833 山口県防府市大字浜方字古浜横入川11-1
鳥栖工場	TEL:(0942)83-3155 〒841-0061 佐賀県鳥栖市轟木町950-1
長崎営業所	TEL:(0957)25-3203 〒854-0072 長崎県諫早市永昌町11-7
熊本営業所	TEL:(096)282-0411 〒861-3131 熊本県上益城郡御船町豊秋543
宮崎営業所	TEL:(0985)25-6477 〒880-0806 宮崎県宮崎市広島2-5-16
大分営業所	TEL:(097)536-3611 〒870-0045 大分県大分市城崎町2-2-18
小倉営業所	TEL:(093)521-4981 〒802-0021 北九州市小倉北区高浜2-1-43

■紙器工場

葛飾工場	TEL:(03)3601-2111 〒124-0001 東京都葛飾区小菅4-2-15
利根川事業所	TEL:(0297)35-2307 〒306-0631 茨城県坂東市岩井5269
新京都市事業所	TEL:(075)954-2121 〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺八反田1

■セロファン工場

武生工場	TEL:(0778)27-1111 〒915-0011 福井県越前市上真柄町39-1-2
------	--